林業５団体による自由民主党移動政調会等への提案・要望活動

岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会、岐阜県林業経営者協会、岐阜県森林施業協会は４月２６日（日）、自由民主党移動政調会・林政対策委員会のメンバーに対して、岐阜県の森林・林業・木材産業の現状を説明すると共に、国予算及び制度運用に対する提案・要望を行いました。

＜提案・要望項目＞

団　　体	要　　望　　項　　目
岐阜県山林協会	１　防災・減災、国土強靭化の推進に必要な予算の確保 ２　森林環境譲与税の森林整備への活用の拡大
岐阜県森林組合連合会	１　持続可能な林業経営の確立に必要な予算の確保 ２　森林所有者データの一元管理、境界明確化への民間事業者参入の促進 ３　林業・木材産業におけるＤＸの推進
岐阜県木材協同組合連合会	１　中東情勢を踏まえた石油由来の建築資材の供給の安定化 ２　「都市（まち）の木造化」の実現に必要な予算の確保 ３　科学的エビデンスに基づいた木材の効能の普及強化
岐阜県林業経営者協会	１　エネルギー利用を見据えた森林整備の推進 ２　ニホンジカ被害軽減のための総合対策の充実 ３　森林サービス産業等の育成と森林の付加価値向上
岐阜県森林施業協会	１　林業の担い手確保・育成・定着への支援 ２　技能検定制度の資格取得の促進のためのインセンティブの付与

自由民主党政調会のメンバー

同席された岐阜県選出の国会議員

山林協会長の要望状況

県木連会長の要望状況

〈参考〉

① 自由民主党の主な参加議員

（政務調査会）　小林　鷹之　会長、　後藤　茂之　会長代理、
鈴木　淳司　会長代理、　江島　潔　会長代理、
中西　健治　副会長
（林政対策委員会）田野瀬太道　委員長、　中谷　元　顧問、
滝波　宏文　副委員長、　若井　敦子　事務局次長
（岐阜県選出）　武藤　容治　衆議院議員、加藤　大博　衆議院議員

（計 11 名）

② 要望に対しての委員からの主な発言、

〇田野瀬林対委員長

・境界関係は林野だけの問題ではなく、令和の太閤検地として一気に進める必要。木を街中に使ってもらうため、木材利用の健康への効果などはしっかりＰＲしていく必要がある。

・林業を儲かる仕事にするためには予算が足りない。夢としては林野予算全体を１兆円、まずは来年度 5,000億円を目指したい。

〇中谷林対委顧問

・バイオコークスの可能性に期待する旨、境界明確化を推進していきたい。

〇小林政調会長

・林業団体からチェーンソーオイルの話が あった、今後も状況を見据えながらしっかり対応したい。

・令和の太閤検地、境界明確化は林野に限らず、国土全体の安全保障の話として進めていきたい。

・都市部の人間も含めて、木材利用のあり方をもっと深く考え需要を作っていくことで、稼げる林業を作り踏み出していく。所得を増やし、若い人たちが 林業をやってみようと思えるような環境をつくっていかなければならない。